

始良・伊佐地域 感染症情報

2019年第34週報 (8月19日～8月25日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：令和元年8月28日

【お問合せ先】鹿児島県始良保健所 TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

感染症情報は、始良・伊佐地域振興局ホームページに掲載しています！

大口保健所管内で「RSウイルス感染症」、始良保健所管内で「咽頭結膜熱」の定点当たり報告数が多い状況が続いています！

★ 全数把握疾患の報告数 ※ [] 内は本年累積患者報告数

種別	大口保健所管内	始良保健所管内	鹿児島県(速報値) ※修正される可能性があります。
一類感染症			
二類感染症			結核4 [248]
三類感染症			
四類感染症			デング熱1 [1]
五類感染症		百日咳2 [50]	梅毒1 [36] , 破傷風1 [2] , 百日咳5 [615]



○ デング熱

今週、県内で本年初めての「デング熱」の患者報告がありました。関連情報を「今週のトピック」に掲載しましたので御参照ください。

★ 定点把握疾患の報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	大口保健所管内			始良保健所管内			県全体				
	開始基準値	終息基準値		1週前	今週		1週前	今週		今週				
				定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0	0.00	→	0.18	1	0.09	↓	11	0.12	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	4.00	5	5.00	↗	2.43	18	2.57	↗	117	2.17	↓
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	2.43	17	2.43	→	52	0.96	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	3.00	2	2.00	↓	0.86	3	0.43	↓	61	1.13	↗
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	1.00	0	0.00	↓	4.86	32	4.57	↓	246	4.56	↗
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0	0.00	→	0.14	0	0.00	↓	13	0.24	↗
手足口病	5.00	2.00	-	0.00	0	0.00	→	0.86	5	0.71	↓	58	1.07	↗
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	0.43	3	0.43	→	47	0.87	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.86	6	0.86	→	30	0.56	↗
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	0.00	0	0.00	→	1.14	9	1.29	↗	57	1.06	↗
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.00	0	0.00	→	0.14	0	0.00	↓	3	0.06	↓
急性出血性結膜炎	1.00	0.10	-	/	/	/	/	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-	/	/	/	/	2.00	2	2.00	→	23	3.29	↗
細菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
無菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	0.00	1	1.00	↗	0.00	0	0.00	→	1	0.08	→
クラミジア肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	-	0	0	/	→	0	0	/	→	集計中	/	→

※ 警報・注意報の「-」は対象としないことを意味します。

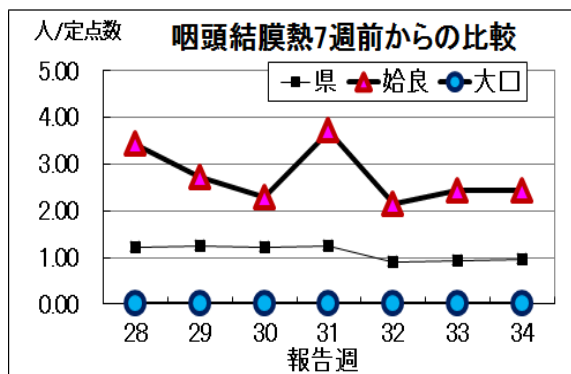
※ 警報・・・赤字の太枠部分, 注意報・・・斜体文字で黄色の網掛け部分

☆ 今週の主な感染症の動向

始良保健所管内が、第23週から流行発生警報レベルです！

○咽頭結膜熱

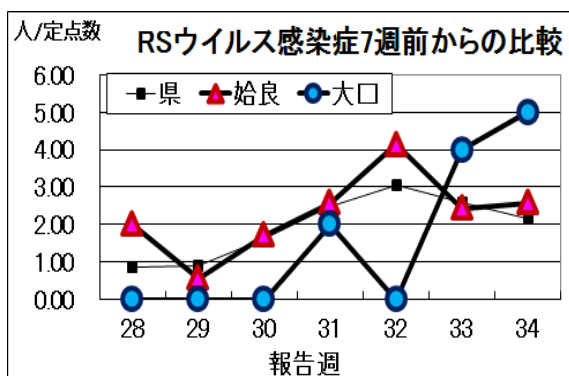
今週、**大口保健所管内**における咽頭結膜熱の患者報告はありません。**始良保健所管内**の患者報告数は、前週と同数の17人（定点当たり2.43人）であり、12週連続で流行発生警報基準値*を超えています。患者の年齢は、5歳以下です。**県全体**では、前週より2人多い52人（定点当たり0.96人）に増加しています。感染予防策としては、流水と液体石鹸による手洗い、器具については、煮沸、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が必要です。



* 咽頭結膜熱の流行発生警報基準値：開始基準値定点当たり3.00人、終息基準値1.00人

ORS ウイルス感染症

今週、**大口保健所管内**におけるRSウイルス感染症の患者報告数は、前週より1人多い5人（定点当たり5.00人）で、2週連続で増加しています。**始良保健所管内**の患者報告数も、前週より1人多い18人（定点当たり2.57人）に増加しています。**県全体**では、前週より22人少ない117人（定点当たり2.17人）と減少したものの、患者の年齢は、5歳以下で、0



～1歳が8割を占めています。乳幼児や高齢者等の集団生活施設では、飛沫感染対策として、マスクの着用等、咳エチケットに努め、接触感染対策として、手洗い又は速乾性擦式アルコール製剤により手指衛生を励行する等、施設全体で取り組む必要があります。

☆ 今週のトピック

「蚊媒介感染症について」

今週、県内で本年初めての「デング熱」の患者報告（海外で感染）があったところですが、厚生労働省健康局結核感染症課から、8月26日付けで、チクングニア熱とデング熱等の蚊媒介感染症に関する注意喚起について事務連絡がありました。

蚊媒介感染症のうちチクングニア熱については、これまで国内感染症例は報告されていませんが、本年6月以降ミャンマーが感染地域と推定される輸入症例が3年ぶりに、全国で複数例報告されています。また、デング熱についても、東南アジア等において流行が報告されており、例えばフィリピンでは感染者数の増加を受けて、フィリピン保健省が警告宣言を発出しているところです。来月には、ラグビーワールドカップの開催も控えており、今後、流行地域からの渡航者の増加が見込まれ、入国後、日本国内で蚊媒介感染症を発症する事例の発生が予測されることから、以下について御注意いただきますようお願いいたします。

【医療機関の皆様へ】チクングニア熱やデング熱は四類感染症に指定されており、症状や渡航歴等から本疾患を強く疑った場合は、最寄りの保健所への情報提供と検体（血清、全血、尿）確保への御協力をお願いします。

【住民の皆様へ】国内においても、虫除けスプレーや長袖・長ズボンの着用等、蚊に刺されないような対策と普段から幼虫（ポーフラ）の発生源をなくす対策が必要です。